## 事業評価シート

事務事業名	ニュースポーツ教室等事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 主要施策名	生涯スポーツの充実	事業コード	4422

事業の目的	誰でもが気軽に楽しく親しむことができるニュースポーツを通じて、体力づくり、健康づくり、生きがいづくりを推進する。				
事業の内容	ニュースポーツ教室を開催する。(ユニカールほか)				
事業の対象	全町民				
事 業 費	年度·区分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	金額	793 千円	793 千円	790 千円	
事業の効果等	いつでも、どこでも健康づくりが出来る環境が整えられた。				
実績·成果等 (数値)	○ニュースポーツ教室(ユニカール・ラージボール卓球・ミニテニスほか) 35回開催 411名参加(昨年は157名) ○屋外ウォーキング 4月~11月 17回開催 566名参加(昨年は319名) ○屋内ウォーキング 12月~3月 16回開催 503名参加(昨年は341名)				

	必要性(町民の二一ズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ 増加	□ 横ばい	□ 減少	□ かなり減少	
事	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
事業	■ 十分寄与する	□ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない	
の 評	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
価	□ 十分できている	■ できている	□ あまりできていない	□ できていない	
	目標達成度(計画通り	通りに目標を達成できたか。)			
	■ 十分できている	□ できている	□ あまりできていない	□ できていない	
内部評価	▲ 優れた取組が多く、十分成果が上がっている				
שו דפיום ניין					
判定説明	年々健康志向を持つ参加者が増加。特にウォーキングは気軽にできることから町民の				
	健康維持に資しており、屋内、屋外共に参加者が増加している。日常的な運動のきっかけとして継続する必要がある。				
及び考察			四有が増加している。 ロ	常的な運動のきっか	
	けとして継続する必要	· がある。 			
事業の	けとして継続する必要 口 さらに重点化する	がある。 ■ 現状のまま継	続する □ 見直	「常的な運動のきっか に <b>しのうえ継続する</b>	
	けとして継続する必要	がある。 ■ 現状のまま継	続する □ 見直		
事業の	けとして継続する必要 口 さらに重点化する	がある。 ■ 現状のまま継	続する □ 見直		
事業の	けとして継続する必要 口 さらに重点化する	がある。 ■ 現状のまま継する □ 休止、廃止を	続する □ 見直		